

契約監視委員会（第17回）議事概要

開催日時	平成26年12月5日（金）午後2時25分～午後4時15分	
場 所	衆議院第二別館5階 会計課入札室	
委 員	委員長 岡本 和巳（公認会計士） 委 員 田代 尚徳（一般社団法人関東地域づくり協会非常勤理事） 委 員 谷川 淳（公認会計士）	
議事概要	1. 入札及び契約手続の運用状況、指名停止の運用状況等についての報告 2. 抽出結果の報告 3. 抽出案件の説明及び質疑応答	
審議対象期間	平成26年4月1日から平成26年9月30日まで	
抽出案件	3件（合計）	
一般競争	1件	契約件名 衆議院会議録システムの機器等一式 契約相手方 東日本電信電話株式会社 契約金額 429,815,894円 契約締結日 平成26年4月11日
指名競争	1件	契約件名 職員宿舎耐震改修その他工事 契約相手方 戸田建設株式会社 契約金額 48,384,000円 契約締結日 平成26年9月24日
随意契約	1件	契約件名 本館第五議員控室内装改修その他工事 契約相手方 株式会社佐藤工務店 契約金額 4,698,000円 契約締結日 平成26年8月22日
委員からの意見・質問、それに対する回答	別紙のとおり	
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし	

お問い合わせ先 衆議院事務局庶務部会計課 電話 03-3581-5111（代表） 内線 34340

(別紙)

意見・質問	回答
<p>〔案件1〕</p> <p>契約件名 衆議院会議録システムの機器等一式</p> <p>契約相手方 東日本電信電話株式会社</p> <p>契約金額 429,815,894円</p> <p>契約締結日 平成26年4月11日</p> <p>・本案件機器の更改は、今回が1回目か。</p> <p>・最初に機器を調達した契約相手方は、今回と同じ者か。</p> <p>・競争参加資格者はどのくらいいるのか。</p> <p>・総合評価にした理由は。</p> <p>・総合評価なら技術提案があるはずだが、どのような要求をしたのか。</p> <p>・機器の性能等は、難しい要求だったのか。</p> <p>・参加者は、最初から1者だったのか。</p> <p>・説明会に来た者は、どれくらいの規模の会社か。</p> <p>・保守はあるのか。</p>	<p>・そうである。</p> <p>・そうである。</p> <p>・本案件で求めた全省庁統一資格は、「役務の提供等」のA等級に格付けされ、関東・甲信越地域の競争参加資格を有する者であり、多数いると思われる。</p> <p>・調達関係省庁申合せにおいて、総合評価落札方式の対象となる製品及びサービス、金額が定められており、本案件は、当該方式の適用対象である予定価格が80万SDR(平成25年度で1億円)を超えるコンピュータ製品及びサービスに該当する政府調達であることから、当該方式を実施した。</p> <p>・機器の性能、構成等である。</p> <p>・標準的な機器の性能、構成等なので、特別難しくはない。</p> <p>・入札説明会の出席者は8者であったが、提案書を提出したのは1者であった。 後日、提案書を提出しなかった者にヒアリングを行った結果、人員を確保できない、機器全てに対応できないという回答があった。</p> <p>・大企業であり、全省庁統一資格のA等級の有資格者である。</p> <p>・機器の保守も本契約に含まれている。</p>

意見・質問	回答
<ul style="list-style-type: none"> ・今回、どのような機器を調達したのか。 ・提案書を提出してこなかったのは、調達する機器の台数に問題があったのか。 ・機器を調達するための期間が短かったのではないか。 ・落札率99.7%となった理由は。 ・入札は何回するのか。 <p>(意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入札者が1者であったため、総合評価落札方式の効果が最大限発揮されなかったと思われる。入札不参加者にヒアリングを実施したということなので、内容等を検討し、今後、複数者が参加できるように検討結果を生かしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・サーバが60台と、パソコンが数台である。 ・ヒアリングによると、一度にサーバ60台を揃えることが難しいという者があった。 ・ヒアリングにおいて、調達期間についても確認したが、調達期間を延ばしたとしても参加は難しいという意見があった。 ・3回目の入札での落札であり、結果的に落札率が高くなったと思われる。 ・概ね3回としている。
<p>〔案件2〕</p> <p>契約件名 職員宿舎耐震改修その他工事 契約相手方 戸田建設株式会社 契約金額 48,384,000円 契約締結日 平成26年9月24日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員宿舎は築何年か。 ・耐震診断はいつのタイミングで行われたのか。 ・一般競争入札を2回行い、不落、不調となったため指名競争入札に移行したとのことだが、一般競争入札に応札した業者は指名競争入札となった際に指名されたのか。また、契約相手方の業者が応札した1者なのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今回対象となる1号棟は築45年以上が経過している。 ・まず簡略的な耐震診断を行った結果、2号棟は耐震性能を満足していたが、1号棟は不足していたため、1号棟のみ2次診断を平成23年度末に行った。その結果、1号棟は耐震性能に欠けていることを確認したため、改修設計を進めたうえで今回の工事に至った。 ・指名しているが、一般競争入札後のヒアリングで、積算の考え方に大きな隔たりがあったことと、その後のタイミングでは配置予定技術者が出せないとのことで応札してこなかった。今回の契約相手方は異なる業者となった。

意見・質問	回 答
<p>・指名競争入札に移行した際、競争参加資格要件を、一般競争入札と指名競争入札で変えているか。</p> <p>・発注時期が後ろにずれ込んだことにより、工期の期限に影響は出ていないか。</p> <p>・一般競争入札から指名競争入札へ移行するため、手続きに要した期間はどれぐらいか。案件によってその期間は変わるのか。</p> <p>・一般競争入札の際は応札者が少なかったが、指名競争入札に移行すると複数者が応札してきたことをどのように分析しているか。</p> <p>・契約相手方は、衆議院の工事の実績がかなりあるのか。</p> <p>・耐震改修工事について、他の施設でも複数行っているのか。</p> <p>・耐震スリットだけで対応できる工事にはどれぐらいの費用がかかるのか。</p> <p>・数年かけて何箇所か耐震改修を行ってきたようだが、全て一般競争入札総合評価落札方式を行ったのか。</p>	<p>・一般競争入札は、総合評価落札方式で発注者及び受注者に、より負担が少ないとされている「施工能力評価型」を今年度から採用して行ったが、残念ながら不調となった。指名競争入札においては総合評価落札方式とはせず、また同種実績等も求めている。</p> <p>・再度公告への仕切り直しのタイミングと、今年度より入札・契約手続運営委員会でルール化した指名競争入札への移行手続き等の遅滞ない対応で、影響は出ていない。</p> <p>・指名競争入札への移行としては初めての案件であったため、ルールに沿った指名競争入札参加業者リストの作成や、指名競争入札に必要な書類の様式の見直し等を行い、1ヶ月半程度の期間を要した。初回ゆえに少し時間が掛かっているのかもしれない。</p> <p>・指名競争入札を行ったタイミングが良かったのではないかと推察しているが、辞退業者へのヒアリングによれば、配置できる技術者がいないという理由が多かった。</p> <p>・近年は無いが、過去数件行った実績がある。</p> <p>・小規模の職員宿舎棟で比較的安価な耐震スリットを入れる耐震改修工事を昨年度に行った。他にも様々な耐震改修工事を行ってきた。</p> <p>・本件は、規程に則り総合評価落札方式としたが、総合評価落札方式の対象とならない案件についても基本的には一般競争入札としている。</p> <p>・本件は、規程に則り総合評価落札方式としたが、総合評価落札方式の対象とならない案件についても基本的には一般競争入札としている。</p>

意見・質問	回 答
<ul style="list-style-type: none"> ・不落ということになって、予定価格の見直しを行ったか。 ・再度公告の案件の予定価格の見直しは会計法令上問題ないのか。 ・耐震改修方法が違う工事になっているのか。 ・見直したことを入札公告等でアナウンスしたか。 <p>(意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予定価格について、履行の難易度等を考慮した上で適正に定めてはいかがか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一般競争入札で不落となった業者にヒアリングした際、共通費に開きがあったため、十分な考察を行い、見直せるところを検討した。 ・仮設図面の見直しを行っているため予定価格も見直すこととなった。件名も一部変えている。 ・狭い敷地内に建つ建築物の工事における安全面の確保の強化等の必要性を重視し、共通費を主に見直しを行った。工事の核となる耐震改修工法自体の見直しは行っていない。 ・見直した内容は入札公告にてあえてアナウンスするものではないが、配付する図面で確認できる。
<p>[案件3]</p> <p>契約件名 本館第五議員控室内装改修その他工事</p> <p>契約相手方 株式会社佐藤工務店</p> <p>契約金額 4,698,000円</p> <p>契約締結日 平成26年8月22日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工期が臨時国会召集日より後に設定されている理由は。 ・競争入札を行うことはできなかったのか。 ・見積合わせを行う業者数に関する決まりはあるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・最終的に手直しを行う必要が出てくる場合もあること、備品復旧後に電気工事を行うことを考慮して工期設定したが、実際は召集日前には工事が完了した。 ・通常であれば一般競争入札を行うところであるが、政党からのレイアウトに関する要望についての協議に少なからず時間を要すること、レイアウトを確定しないと正式な予定価格の積算を行うことができないことから、競争入札の手続きに必要な期間をもって期日までに完了するには物理的に困難であった。 ・競争性確保の観点から3者による見積合わせを行った。見積り相手方は本件工事を実施することができるランクの者の中から、衆議院の改

意見・質問	回 答
<p>(意見)</p> <p>・今回の総選挙でも発生する事案でもあるので、今後も見積合わせについては適切に行っていただきたい。</p>	<p>修工事の実績があり、かつ議員が入室する部屋を改修した実績のある者を選定したため、今回の数になった。</p>